



象が泣いた 幼臭が泣いた!

おさな

～大人たち全員の出番～

「象さん可愛そう、あちゅうかっただしょう。」
幼い子どもたちが楽しみにしていた庄公
園の象のすべり台(6F製)が、悪戯
にも焼かれました。両目も鼻も足も
首も焼かれた象さん。

6月14日(水)、夜8時すぎ、中・高校生年齢数人による
花火の悪行です。ありがたいことに、近くの方が110番
して下さいました。

小学校では、花火の残骸と共にマルナカの買い物かごが焼かれ、プールの中に
見学用の机・椅子が、公民館では消火器の薬缶が撒き散らされていた。

- ① 少年の悪戯を放置してはならない。悪行を見かけた人は、直ちに通報を。現場補導と弁償が重要。
- ② 存在感・充実感がなく寂しさをもっているのも事実。保護者の責任だと、知らぬ顔の半兵衛を決めこんでも解決しない。庄に住む大人たちの出番だ。遊びや子どもと大人のいれあいの活動をもっと進めなければならぬ。子どもの「魂のあそび」のために。



＝庄地協総会・出席ありがとう＝

肉田会長から 柴田会長へバトンタッチ!

6月24日(土)、コミュニティハウスで総会を開きました。肉田孝徳会長が辞任され、柴田元隆さんが会長に就任されました。2代会長孝徳さん ありがとう。

2代会長 肉田孝徳さん
この1年、体調を崩しご迷惑をかけました。
皆さんと共に、地城づくりの活動に一生懸命に
がんばり、多くの協力をいただいたことに感謝し
ます。庄づくり活動の益々の充実を祈ります。

3代会長 柴田元隆さん
私は中途からの参画ですが、地域や機関・団体
との連携、事務局員のかんばりは素晴らしいと
思う。子ども、環境問題など新たな視点から参
取組みが必要。連携と参加への呼びかけをお願
いします。



淡路花博視察…庄づくりを生かそう

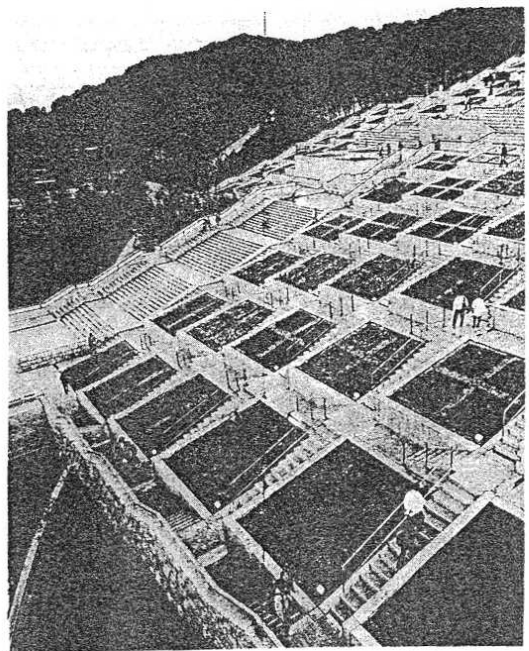
倉敷市の「緑化事業先進地視察」として、6月5日、淡路
花博へ庄地協から川林、堀の2人が参加しました。

関西空港等のための広大な土砂採掘跡地を森として再生し、その中
に、自然と人が共生する場を創り出そうとする…それが淡路花博
の姿でした。

ですから、1本の木、ひとつの花にいたるまで自然な形に植えら
れた景観はすばらしい眺めでした。中でも、季節の花30万本で虹を
表した守藤忠雄設計の「百段苑」は圧巻でした。これは、大震災の鎮
魂花でもあるそうです。会場全体に、せせらぎの音、水の白い、木々
の緑など、五感で自然を感じら
れるよう設計さ
れたそうです。

会場内に夕時
間ほど居ました
が、折られた花
木、ゴミや空き
のポイ捨てもな
く、美しい会場
でした。

家々に花が咲
き乱れ、マナー
の悪い人々の居
る庄…この庄づ
くりを生かした
いと思いました。



(眼下に大阪湾を見おろせる 百段苑)



期間は、9/17(日)まで。ズックばきで、帽子、日傘
弁当、飲み物を持ってお出かけ下さい。

(報告 川林紀代美、堀 春彦)